

# DX 街づくり・ビジネスデザイン勉強会



2021年11月



国際大学グローバル・コミュニケーション・センター  
レジリエントシティ研究ラボ



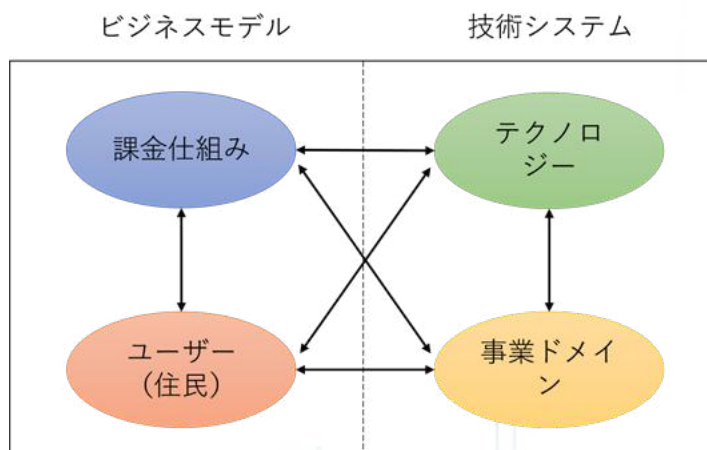
## ◆ 勉強会の目的

本勉強会は、デジタル技術を活用した新しい街づくりビジネスを実践するうえで重要となる短期的視点（ビジネス企画の構築に必要な要素の理解）と、未来志向に基づいた長期的・戦略的視点（住民との関係性維持や持続的なビジネスモデル実践のための知識）を、広く街づくりに参画されている企業の皆さんに獲得いただくため、2021年度に開始いたしました。

実際の街づくり事例をまとめたケース教材を用いながら、レクチャーとクラス討議により議論を深めていきます。

## ◆ 勉強会参加により得られる視点

- ① DX街づくりビジネスの企画に必要なテクノロジーと社会システムの関係を理解するための知識を得ます。右図のソシオテクニカルシステム概念に基づいた知識の深堀と整理を行います。
- ② DX街づくりの実践に欠かせないCX向上と社内の組織変革について実践例（ケース教材）を基に理解を深めます。
- ③ 他社からの参加者との議論を通じて視野を広げ、従来のビジネスの枠を超えた発想力を育成します。
- ④ 街における新しい付加価値創出やビジョンと、DX街づくりのビジネスモデルの構想力を育みます。



## ◆ 参考書籍

- 『世界のSDGs 都市戦略：デジタル活用による価値創造』（櫻井美穂子著、学芸出版社、2021年7月25日発行）  
「レジリエンス」をキーワードに世界20の都市戦略と実践を参照し、持続可能な街づくりのヒントを読み解きます。



## ◆ 勉強会の進め方

各セッションで使用するケース教材に事前に目を通して、当日のクラスディスカッションに臨んでいただきます。クラスディスカッションのための質問（2点程度）は、事前または勉強会当日に提示します。3～4名を1グループとして、グループごとにディスカッションと最終プレゼンテーションを行います。最終回（Day5）は、グループプレゼンテーションを予定しています。

## ◆ 勉強会の構成

1回 2.5時間のセッションを計5回開催します。

セッションの内容は、グループ・クラス討議、レクチャー、グループプレゼンなど（下記）を予定しています。

	内容
Day1	ケース①②「Fujisawa サステイナブル・スマートタウン」を使ったグループ・クラス討議（終了後に名刺交換会&自己紹介会の予定）
Day2	ケース③「ANA グループが実践するデジタルトランスフォーメーション」を使ったグループ・クラス討議
Day3	レクチャー：DX / CX の考え方・フレームワーク（櫻井・國領）
Day4	ケース④「会津若松スマートシティ」を使ったグループ・クラス討議
Day5	ラップアップ+グループプレゼンテーション

※開催時間はいずれも 16:00 ~ 18:30 を予定。開催日程は変更する場合があります。

※ケース教材は 20 ページ程度。

※開催形態（オンライン/オフライン）については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら都度決定いたします。

## ◆ 講師のご紹介



### 櫻井美穂子

（国際大学 GLOCOM 准教授 / レジリエントシティ研究ラボ代表）

アゲデル大学（ノルウェー）情報システム学科准教授を経て 2018 年より現職。専門は経営情報システム。基礎自治体や地域コミュニティにおけるデジタル活用について、サステナビリティ、レジリエンスの観点から研究を行っている。Hawaii International Conference on System Sciences (2016)、ITU（国際電気通信連合）Kaleidoscope academic conference (2013) にて最優秀論文賞受賞。

実践研究活動として、ヨーロッパ7か国の大学や自治体に参加する EU Horizon2020 「Smart Mature Resilience」プロジェクトに参画。2019 年からは、自治体や企業との協働による「災害時コミュニケーションを促進する ICT 利活用に関する首長研究会」を主宰。2021 年 7 月に『世界の SDGs 都市戦略：デジタル活用による価値創造』（学芸出版社）を上梓。



### 國領二郎

（国際大学 GLOCOM 上席客員研究員 / 慶應義塾大学総合政策学部教授）

Day3 のレクチャーを櫻井と共に担当します。

1982 年東京大学経済学部卒。日本電信電話公社入社。1992 年ハーバード・ビジネス・スクール経営学博士。1993 年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。

2000 年同教授。2003 年同大学環境情報学部教授などを経て、2009 年総合政策学部長。2005 年から 2009 年まで SFC 研究所長、2013 年から 2021 年まで慶應義塾常任理事も務める。

主な著書に「オープン・アーキテクチャ戦略」（ダイヤモンド社、1999）、「ソーシャルな資本主義」（日本経済新聞社、2013 年）がある。



## ◆ 参加対象と想定クラス人数

- ・ 想定年齢層：30代後半～40代前半
  - ・ 想定クラス人数：15名～20名
- ※ 最小実施人数は15名。参加者が15名に満たない場合には実施いたしません。

## ◆ 参加形態と参加費

- ① 1社から3名（最小の参加人数となります）  
…100万円（税抜）
- ② 1社から5名（最大の参加人数となります）  
…150万円（税抜）

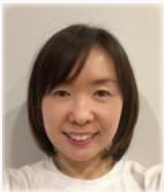
### <参加対象者のイメージ>

- » スマートシティ、街づくり等の業務に携わっている方、また今後携わる予定のある方
- » 社内でDXを担当されている方、または検討されている方
- » 社内の組織変革、ビジネスモデル変革をお考えの方
- » スマートシティやデジタル社会について深く勉強したい方

## ◆ 2021年度参加企業

(株) ジンズホールディングス、TIS (株)、成田国際空港 (株)、ほか

## ◆ 2021年度参加者メッセージ



成田国際空港株式会社  
マーケティング統括室  
マネージャー  
金城友紀さん

空港は、航空旅客のお客様、航空会社、周辺地域をはじめ、空港の運営を支える様々なステークホルダーに支えられて日々の運営を行うインフラ施設です。こういった意味で、空港の運営と「街づくり」は親和性のあるものでした。「DX街づくり勉強会」を通じて、組織間の合意形成の在り方や、時代の流れとともに変化するユーザーやコミュニティーのニーズにどのように応えていくかという課題について、具体的な街づくりの事例を通じて議論することができたのは大きな収穫でした。



TIS株式会社  
デジタル社会サービス企画ユニット  
デジタル社会サービス企画部  
会津サービスクリエーションセンター  
主査  
住吉美樹さん

「DX街づくり・ビジネスデザイン勉強会」では、講師の方が実際に現地でヒアリング、調査したリアルなDXや街づくりの取組み事例を学べるだけでなく、体系的にアカデミックに学ぶことで理論と体感両面から納得感を得ることが出来ます。研修に参加する異業種の方と意見交換しながら学べる構成になっているため、今まで自社だけでは気付けない発見もあり、事例紹介だけでは学べないスマートシティのリアルを学びたい人におすすめです。

## ◆ お申し込み・お問い合わせ

DX街づくり・ビジネスデザイン勉強会事務局（担当：小島）  
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（GLOCOM）  
〒106-0032 東京都港区六本木6-15-21 ハークス六本木ビル2F  
Email: resilient@glocom.ac.jp  
TEL：03-5411-6675